

日本地衣学会

No.34

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

| | | |
|----|---|-----|
| 目次 | ニュース..... | 117 |
| | 猪の八重(イノハエ)溪谷のコケは守られた 本会からの「要望書」, その後 / 会長..... | 117 |
| | 雑報..... | 118 |
| | 学術雑誌のランキング / 吉村 庸..... | 118 |
| | Lichenology2巻2号は発行間近 / 編集委員長..... | 118 |

ニュース News and Announcements

猪の八重(イノハエ)溪谷のコケは守られた

本会からの「要望書」,その後

本年2月27日付けの宮崎日日新聞のトップページならびに、毎日新聞(以下地方版)、朝日新聞、西日本新聞、読売新聞によると、「コケ類の宝庫」猪八重溪谷付近に建設が計画されていた県営クレー射撃場は建設候補地より除外された。また、クレー射撃場の計画自体も3年間は凍結されることとなった。同地区は宮崎県が平成13年度に実施した環境調査でコケ類に影響を与えうる可能性が指摘され、絶滅が心配されるクマタカの生息も確認されていた。

日本地衣学会は日本蘚苔類学会とともに、猪八重の貴重なコケへの影響が懸念されるクレー射撃場の建設計画の見直しをかねて要望していた。宮崎県教育次長を委員長とする候補地検討委員会では平成13年度に約3千

万円をかけて環境影響調査を行い、着工を見合わせており、さらに詳細な調査を実施するには年間3500万円以上の経費を数年間必要とする試算などを基に協議していた。委員からは「環境への影響が少しでも懸念される以上、候補地を再検討すべき」との意見が大勢を占めた。また、候補地再選定に必要な環境影響調査も3年間は県の歳出縮減のために見送られることとなった。

ともあれ、猪八重溪谷の自然は守られることになった。葉上地衣やスミレモドキなどの南方系の地衣類が見られ、絶滅危惧種もいくつか知られている同地が、当面とは言い開発の手から免れたことの意義は大きい。

(会長 吉村 庸)

学術雑誌のランク

日本の国債のランクが G7 の中では極端に低いとか銀行などの金融機関のランク付けが問題になっている。企業はもとより、大学なども評価機関の動向に神経質である。さて、学術雑誌もご多分に漏れず評価されている。論文引用を基にした Science Citation などが有名である。Nature や Science が 1 位、2 位であるが、植物科学(植物学)の専門雑誌でなじみの雑誌をみるとどうなるだろうか。American Journal of Botany が 19 位、Phytochemistry 27 位、Phycologia 39 位、Taxon (62)、Bryologist (65)、Canadian J. Bot. (69)、Journal of Hattori Botanical Laboratory (101)、Annales Botanici Fennici (115)と上位 135 のなかに服部植物研究所報告が first impact factor 0.434、被引用数 498 でリストされている。これは 2002 JCR Science Edition によるもので、2001 年と 2002 年の 2 年間の論文被引用実績からのランク付けである。Lichenologist は 1.009、Bryologist (0.956)、Mycotaxon (0.368)、Cryptogamic Bryology (0.157)、となっている。

ご承知のとおり、服部植物研究所報告は蘚苔・地衣類の専門雑誌であり、特に蘚苔類が中心であるが地衣類の論文も載る。日本の小さな研究所の報告がこのように世

界的な評価を受けるのは喜ばしいことである。多くの学会誌が短い論文を中心に扱う中であって、本誌は長大な論文を積極的に受け入れ続けたことで、結果として世界中の学位論文が掲載されるまでになり、世界的な評価を得るようになった。会員各位の長大な論文については、世界的な評価を受けている服部植物研究所報告に投稿されるように希望する。

さて、当日本地衣学会の会報 Lichenology も、アメリカ蘚苔地衣学会の Bryologist やイギリス地衣学会の Lichenologist に伍する、評価の高い雑誌にしていきたいものである。

(吉村 庸：服部植物研究所高知分室)

Lichenology2 巻 2 号は発行間近

Lichenology2 巻 2 号は、今月末に発行の予定です。内容は、「日本産地衣類および関連菌類のチェックリスト」、「坂東誠：実験条件下における地衣類の栽培方法」、「シンポジウム“中国雲南省の地衣類 多様性と生物地理”要旨集」、「第 2 回大会研究発表要旨集」、「Huneck S.: Prof. Dr. H.Hertel – 65」で、計約 140 ページとなります。発行が遅れ、投稿者および会員の皆様にはご迷惑おかけしました。3 巻 1 号は前年どおり、7 月末には発行予定です。

(原田 浩：編集委員長)

Lichenology 日本地衣学会ニュースレター
とも、投稿先は：

原田 浩：〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2
千葉県立中央博物館。Fax 043-266-2481。
E-mail: h.hrd3@mc.pref.chiba.jp

(原田浩：編集委員長)

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌31号110ページに。

Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication,

you or your organization must obtain permission. For details, see no. 31, p. 110 of this publication.

日本地衣学会ニュースレター 34号

発行日：2004年 3月15日

編集：原田浩・岡本達哉・木下靖浩・棚橋孝雄
発行者・発行所：日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内